

吹き抜けのある住まい 新築工事が完了しました！

奈良県にて進んでいました新築工事。無事に工事は終わり、お引き渡し致しました！

開放感のある吹き抜けが特徴のこの住まい。「二上山が眺められる住まいにしたい」というお客様のご要望を叶えるものになりました。

写真からもお分かりいただけますが、吹き抜けと大きな窓が何とも開放的です。室内は明るく風通しも良いので爽やか。窓はピクチャーウィンドウとして景色を楽しむことができます。



白い壁にウッディなフローリングがスッキリとした印象の室内。スケルトン階段で圧迫感がないのも良いですね。



at work

こちらの写真はこのお住まいの工事中のもの。強い住まいづくりのためには、「しっかりした丈夫な基礎」がとても重要。㊦の写真が基礎工事の様子です。コンクリートを貫通して頭を出しているのは「アンカーボルト」。これで土台と基礎をしっかりと繋ぎ合わせませす。㊧の写真は骨組みの様子。完成後には見えなくなる部分ですが、柱や梁が整然と並び姿はなかなか美しいものです。㊨の写真は現場に掲示してあるものです。現場の整理整頓は良い住まいづくりの基本。住まいづくりに関する全ての人がこれらのルールを守り、奇麗な現場が保たれています。



株式会社中土居工務店
代表取締役 中土居 理弘

Eメール

info@nakadoi.co.jp

Nakadoi Construction & Reform Corporation



建築業許可：大阪府知事 許可(般-17)第 125002 号 / 一級建築士事務所登録 大阪府知事(イ)第 22452 号

株式会社 中土居工務店

☎ 06-6725-0520

Fax. 06-6725-0530
〒577-0816 東大阪市友井 5-5-39
http://www.nakadoi.co.jp

技術にうらづけされたお客様満足の住まい創り

心をこめて 夢を現実に
家族と地球にやさしい家づくり

Renewal

地域主義工務店がお届けする

ひまわり通信

2019年 春号

いよいよ、心地よい季節がやってきます

こんにちは！中土居工務店です。

2019年がスタートしてはや2か月。今年最初のひまわり通信となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年は地震に台風と災害が相次ぎましたが、なかなかその復旧もままならない状態です。熊本の震災や広島の水害など、大きな被害のあった被災地の復旧すら、まだ手付かずというのが現状です。

これらの原因は、瓦などの資材不足と人手不足にあります。元々、業界全体として、大工や左官など、高い技術者を必要とする職人の後継者不足が課題となっていて、一人、また一人とリタイアする度に、職人の数が減っていく状況でした。

その背景には、住宅工法の簡素化やライフスタイルの変化などがあり、技術がそぎ落とされてきたという世の中の流れがあります。できるだけ早く、簡単に…というモノづくりの中で、技術が必要とされなくなってきた訳です。



ですが、そのツクがこういう困った時に回ってきます。住まいの手直しが一方向に進まない現状が、まさにそれです。

技術を後世へ…



中土居工務店ではこういった状況を踏まえ、大工や左官など、職人の後継者育成に少しでも貢献できればと思っています。

弊社が所属する団体では「大工志塾」という取り組みをしています。伝統木造建築の高度な技能・技術を備えた大工の育成や、その技術を活用した古民家の再生など、大工技術の継承に尽力しています。

さらに、国産木材の需要低迷が大きな問題となっており、木を使うことで再造林のための資金を還元し、森林の荒廃を防ぐことが大切です。大工志塾は、国産木材のメリットを活かした建築技術の習得を基本としており、国産木材の活用も、取り組みの大きな目的となっています。

弊社でも、大工志塾での3年間の育成プログラムを終えた若手大工を引き受け、現場で仕事をしながら知識や知恵、技術を習得してもらっています。今もそんな大工が活躍中です。

また彼らの声はインタビューしてひまわり通信にてお届けしたいと思っておりますので、どうぞお楽しみに！

梅・桃の桜…華やか季節です

そろそろ春の足音が聞こえてきました！梅や桃がちらほら咲き始めましたね。

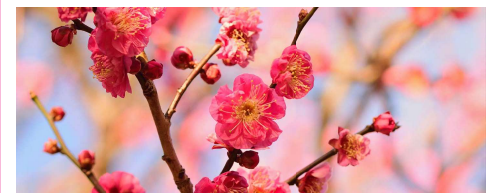
先日、道明寺天満宮の梅を見に行ってきました。時期が少し早かったようで、ちらほらではありましたが、梅を愛でることができました。

ところで、「梅切る馬鹿 梅切らぬ馬鹿」という言葉をご存知でしょうか？「桜」と「梅」の剪定法に違いがあることを教える言葉です。

桜は幹や枝を切るとその部分が腐りやすいため、梅は余計な枝を切らないと翌年花が咲かなくなる、という違いがあるそうです。

弊社の現場監督が、昨年は満開だった梅の木が、今年は咲かないということで調べたところ、そのような特性があるのだとか。

世間話にも春の香りが漂う季節になりましたね。



耐震改修にブロック塀の撤去、室内リフォーム工事が完了！



摂津市にお住まいで、昨年6月の大阪北部地震で被害を受けられたお客様。

耐震性能やブロック塀の倒壊などの不安をお持ちだったことから、耐震診断をさせていただき、検討を重ねて耐震工事をさせていただくことになりました。ブロック塀の撤去、フェンスの新設工事も行いました。

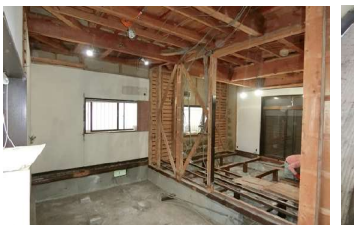


左の4枚の写真は工事前の住まいの様子。屋根には重たい瓦がのってあり、外壁はモルタルでした。耐震工事に伴い、これら外回りのやり替えと一緒に、内装もガラリと一新します。

下の写真は耐震工事の様子。

柱や梁を残して、建物はスケルトン状態に（写真⑤）。

腐朽していて強度が足りなくなった部分は、新しい木材で差し替え（写真⑥）、構造用金物や梁・耐力壁を増設し、住まいの耐震性能を大きく向上させました。これで今後も安心して暮らしていただけます。



この3枚の写真は、完成後の住まいの様子。3方囲まれたブロック塀は撤去してフェンスを設置しました。地震や台風が来ても、もう倒壊の心配はありません。重たい瓦屋根は軽い屋根に置き替え、モルタル壁をめくりサイディングに。ダークグレーのサイディングで、住まいの雰囲気が変わり、モダンな佇まいになりました。

内部も写真のように一新。水まわり設備も新しくしました。間仕切られていたダイニングとリビングを一体化して広々とした空間をつくり、キッチンオープンな対面式に。まるで新築のような室内空間となりました。



昨年の地震・台風被害への改修・補修工事もなかなか進まない中ではありますが、来るべき災害への備えはやはり必要です。不安のある方はお早めにお気軽にご相談ください。

ただ今、工事中！居室を増やす改修工事です

鉄骨造のお住まいの、1階ガレージ部分に子供部屋をつくり、中庭をデッキにするための改修工事が進行中です。

以前、工事をさせていただいたお客様からのご縁で、今回の工事のご相談をいただきました。1年程前から計画に着手し、無事に工事に入りました。

1階のガレージ部分を建物内に吸収し、新たに居室をつくります。ここは、お子様が過ごされる場所になります。と同時に、内装も改修して新しくし、写真⑥の中庭をデッキへとつくりかえます。



とても洒落たお住まいで、つくりもしっかりしています。今後も安心して暮らせるお住まいなので、ライフスタイルに合わせた改修工事で、さらに快適な生活が実現します。完成後の様子はまた次のひまわり通信でお伝えします！

奥様のColumn

気ままにおさんぽ

ホットな情報をお届けします！

3月に入り、少しずつ春の足音が感じられるようになりましたね。皆様いかがお過ごしですか？

今回のお散歩は昨年末に行ってきた地下鉄御堂筋線大國町駅近くの『浪芳庵』さんです。きっかけはテレビで元阪神タイガースの松山選手が言って食べた浪良庵さんの「炙りみたらし」oo めっちゃ美味しそうで☺️思い立ったら90♪ 『浪芳庵』さんは周囲の景色と違ってそこだけちょっとタイムスリップの古き良き古民家風のどっしり静かな佇まいで現れます。

友人と注文したのは高級ほうじ茶と炙りみたらし。そして追加のバニラアイス。お茶の入れ方も丁寧に教えて下さいます！日本茶って深い♡

そしてお持ちかねの炙りみたらしはタレがグツグツ煮えてきたら食べごろ。もっちり柔らかくて、タレの甘さに癒される〜☺️

締めはバニラアイスにはタレをかけて戴きます。タレ × バニラアイス = 絶妙!! 甘じょっぱくてサイコー!!

どれもこれも全部めっちゃ美味しかった(´▽`)/ ゆったりおほっこり素敵な時間になりましたoo また行きたいな 皆さんもぜひぜひに☺️

これからは花粉症全盛期。体調に気を付けてお過ごし下さいませ🌸